

本資料は、タペストリー・インクが2023年11月9日(木)午前7時(日本時間:同日午後9時)に発表したプレスリリースの日本語翻訳版です。

<報道関係者各位>

タペストリー・インク 2024 年度第 1 四半期の業績を発表 第 1 四半期としては過去最高となる収益及び EPS を達成

- 前年を上回る成長を反映し収益が 15 億ドル超に
- 売上総利益率は前年比で 250 ベースポイント増
- 希薄化後 1 株当たり利益は予想を上回り、報告書ベースで前年比 6%増の 0.84ドル、非 GAAP ベースで前年比 18%増の 0.93ドル
- 2024 年度の利益及び営業活動によるキャッシュフローの見通しを維持

こちらの[リンク](#)から各ブランドの解説を含む 2024 年度第 1 四半期の業績説明資料(英語のみ)がダウンロードできます。

ニューヨーク 2023 年 11 月 9 日 – ニューヨークに本拠地を置き、アイコンニックなアクセサリーとライフスタイルのブランド、コーチ、ケイト・スペード、スチュアート・ワイツマンを展開するグローバル企業 タペストリー・インク(NYSE:TPR)は、本日、2023 年 9 月 30 日に終了した 2024 年度第 1 四半期の業績を報告しました。

タペストリー・インク最高経営責任者のジョアン・クレヴォイセラは次のように述べています。

「ダイナミックに変化する外部環境を背景に、戦略的成長アジェンダを着実に推進し続けた結果、第1四半期としては記録的な収益及びEPSを達成しました。タペストリーの力強く一貫した業績は、有能なグローバルチームの創造性と規律ある遂行力に裏打ちされたブランド構築と消費者中心主義のパワーを示すものです。当四半期は、恒常通貨ベースで売上高を増加させ、売上総利益率を大幅拡大し、調整後のEPS成長率を10%台後半に伸ばしました。重要なことは、ブランドとカスタマーエンゲージメント・プラットフォームへの投資を継続し、イノベーション推進の取り組みを強化し、世界中のお客様と永続的な関係を育んだことです」

「これからの展開に向け、当社は持続可能な成長のための有意義な道筋に沿った有利な立場にあります。ブランドの魅力訴求とお客様への提供への絶え間ない努力を通じ、スピード感と敏捷性を可能にするデータドリブンのD2Cオペレーティング・モデルに支えられ、オーガニックな増収増益を達成できると確信しています。これらの優位性はタペストリーの変革を成功させる原動力となり、今後何年にもわたってステークホルダーに価値向上をもたらします」

タペストリー・インクの業績及び戦略に関する主なハイライト

2024年度第1四半期中、タペストリー・インクは以下の通り戦略的プライオリティーを前進させました。

お客様との永続的な関係性の構築

- **全ブランドでカスタマーエンゲージメントを強化しました。**北米だけで約120万人以上の新規顧客を獲得し、その約半数がZ世代及びミレニアル世代でした。

グローバルな成長を強化

- **海外は、日本の12%増、中国全体の9%増に押し上げられ、恒常通貨ベースで7%の増収**となりました。
- **北米では消費者の需要環境が軟化する中、収益は前年から概ね横ばいとなりましたが、売上総利益率と営業利益率は上昇しました。**
- **希薄化後1株当たりの調整後利益は10%台後半の伸びとなりました。**

魅力的なオムニチャネル・エクスペリエンスを提供

- 各ブランドのGo-To-Market戦略を拡張し続けるための会社のデータ及び分析機能に支えられた結果、店舗の1桁台前半の増収に牽引され、**D2C売上は恒常通貨ベースで1%増加**しました。
- **デジタルは優位な位置付けを維持し、当四半期の収益の25%近くを占め、概ね前年と同等、パンデミック前水準の約3倍超**になりました。

ファッションの革新性と製品の卓越性の向上

- 新製品とブランディングの成功に支えられた強力なイノベーションにより、**世界的にハンドバッグの平均小売単価が上昇**しました。
- 運送費の低下と優れた業務パフォーマンスが寄与し、**売上総利益率が250ベースポイント拡大**しました。
- **厳格な在庫管理を維持し、当四半期末の棚卸資産は前年より17%減**となりました。これは規律ある在庫管理に重点を置いていることと、前年より輸送中の在庫水準が低下したことを反映するものです。

2024年度第1四半期の業績

- **純売上高**は、前年より微増して15億1,000万ドルとなりました。米ドル高による130ベースポイントの為替差損を除くと、前年比約2%の増収となります。

- 運送費低下による150ベースポイントと業務改善を反映し、**売上総利益**は11億ドル、売上総利益率は72.5%となりました。なお前年同期の売上総利益は10億5,000万ドル、売上総利益率は70.0%でした。
- **販管費**は報告書ベースで合計8億4,500万ドル、対売上比の販管費率は55.8%、非GAAPベースで合計8億2,500万ドル、対売上比の販管費率は54.5%となりました。なお前年同期の報告書ベース及び非GAAPベースの販管費は合計8億ドル、対売上比の販管費率は53.1%でした。
- **営業利益**は報告書ベースで2億5,300万ドル、営業利益率は16.7%、非GAAPベースで2億7,300万ドル、営業利益率は18.0%となりました。なお前年同期の報告書ベース及び非GAAPベースの営業利益は2億5,400万ドル、営業利益率は16.9%でした。
- **支払利息の総額**は、報告書ベースで1,300万ドル、非GAAPベースで700万ドルでした。なお前年同期の報告書ベース及び非GAAPベースの支払利息の総額は700万ドルでした。
- **その他の支出**は100万ドルでした。なお前年同期のその他の支出は1,100万ドルでした。
- **純利益**は1億9,500万ドル、希薄化後1株当たり利益は0.84ドルとなりました。非GAAPベースの純利益は2億1,600万ドル、希薄化後1株当たり利益は0.93ドルです。なお前年同期の報告書ベース及び非GAAPベースの純利益は1億9,500万ドル、希薄化後1株当たり利益は0.79ドルでした。当四半期の税率は報告書ベースで18.2%、非GAAPベースで18.3%です。なお前年同期の報告書ベース及び非GAAPベースの税率は17.3%でした。

貸借対照表とキャッシュフローに関する主なハイライト

- **現金及び現金等価物、並びに短期投資**の合計は6億3,900万ドルで、**借入金残高の合計**は16億5,000万ドルでした。
- **棚卸資産**は9億4,300万ドルで、前年同期末の11億4,000万ドルから減少しています。
- 2024年度第1四半期の**営業活動によるキャッシュフロー**は、前年度の1億7,000万ドルの流出に対して7,500万ドルの流入でした。**フリーキャッシュフロー**は、前年度の1億9,800万ドルの流出に対して5,400万ドルの流入でした。これには前年同期の4,700万ドルに対して2,900万ドルの**設備投資**及び**クラウド化に関連する導入費用**が含まれます。

配当

タペストリー・インクの取締役会は2023年12月8日の営業終了時点の株主名簿記載の株主に対し、2023年12月26日に普通株式1株当たり0.35ドルの四半期現金配当を行うと宣言しました。

本年度、タペストリー・インクは引き続き約3億2,500万ドルの配当による株主還元を予定しており、年間配当は前年比17%増の1株当たり1.40ドルとなる見込みです。

カプリ・ホールディングス・リミテッドの買収

2023年8月10日、タペストリー・インクはカプリ・ホールディングス・リミテッド買収に関する最終契約を発表しました。アイコンックなラグジュアリーファッションブランドを擁する強力なグローバル・マルチブランド企業が確立されることとなります。この買収は、消費者中心のブランドビルダーで、規律ある事業者であるタペストリーの基本理念に基づくものであり、戦略的および財務的な成長アジェンダを加速させるものです。この統合により以下が可能になります。

- 消費者セグメント、国や地域、製品カテゴリー全体でポートフォリオのリーチと多様性を拡大
- タペストリーのカスタマーエンゲージメント・プラットフォームを活用し、D2Cの機会を促進
- 大幅なコストシナジーの可能性を創出
- 高度に多様化され、強力で安定したキャッシュフローを創出
- パーパス(存在意義)主導型で人材重視の企業としての継続的發展を推進
- 株主総利回り(TSR)向上への道筋を確立

重要なことは、この取引により調整後ベースでEPSの2桁台の大幅増加や魅力的なROICが期待されることです。

タペストリー・インクは引き続き取引完了に向けて前進します。

- 2023年10月25日、カプリ・ホールディングス・リミテッドの株主はこの取引を承認し、取引完了条件の一つを満たしました。
- タペストリー・インクは、2023年11月3日に受領した米国連邦取引委員会からの2度目の要請への対応など必要となるすべての規制当局の承認取得に取り組んでおり、従前の見込み通り2024年(暦年)内に取引完了できると確信しています。
- タペストリー・インクは引き続き恒久的な融資、タームローン、タペストリーの余剰現金及び予想される将来的キャッシュフローの組み合わせによって買収資金を調達する予定で、その一部はカプリ・ホールディングス・リミテッドの既存債務の支払いに充当される予定です。統合後の強力なキャッシュフロー創出力を想定し、取引完了後24カ月以内に負債/調整後EBITDAのレバレッジ比率を2.5倍未満にするという当初の目標を達成するため、当社の資金調達戦略として、繰り上げ返済による迅速な債務削減を支援していきます。
- 最終的に、統合計画は予定通りに進んでおり、当社は引き続き取引成立後3年以内に2億ドル以上のランレートコストシナジーを見込んでいます。

非 GAAP の調整

2024年度第1四半期中、タペストリー・インクは税引前利益を2,600万ドル、純利益を2,100万ドル、希薄化後1株当たり利益を0.09ドルそれぞれ減少させた特定の項目を計上しました。これらの項目は買収費用に関するもので、主に専門家の費用及び融資の費用に関連するものです。

報告書ベースから非GAAPベースへの調整項目の詳細は本プレスリリースの財務諸表4をご覧ください。

業績見通し

タペストリー・インクは、より強力な利益率の改善によって緩やかな増収予測が完全に相殺される見込みであることから、2024年度の利益と営業キャッシュフローの見通しを維持しています。これには、漸増する為替差損及びアジアと北米における緩やかな 営業見通しが反映されています。

2024年度見通しについては現在のところ、従前のガイダンスをすべて置き換える形で次のとおり予測しており、非GAAPベースで提供しています。

- **収益**は、前年から報告書ベースで僅かに増加して約67億ドル。為替変動による約150ベースポイントのマイナス要因を除いた恒常通貨ベースでの収益は前年比2%から3%上昇の見込み。
- **支払利息の総額**は約2,000万ドル。
- **税率**は約20%。
- **希薄化後の加重平均株式数**は、約2億3,500万株。
- **希薄化後 1 株当たり利益**は、前年比約6%から7%の成長を反映し、4.10ドルから4.15ドルの範囲。
- **フリーキャッシュフロー**は取引関連費用を除いて約11億ドル。

この見通しは以下を前提としていることにご留意ください。

- 2024年(暦年)内に完了予定のカプリ・ホールディングス・リミテッド買収計画に関連した収益や利益の貢献、取引関連費用を見込んでいないこと。
- 米ドル高は進まないこと。予測時点でのスポットレートに基づく情報による。
- 中国全体が段階的に回復すること。
- インフレ圧力や消費者心理が大幅に悪化しないこと。
- 一般特惠関税制度(GSP)復活の可能性による恩恵を受けないこと。

これら及びその他の外的要因の動的な性質を鑑みると、業績が今回の見通しから大きく異なる可能性があります。

業績見直し:非GAAPへの調整

タペストリー・インクは、本プレスリリース及びカンファレンスコールにおいて提示された非GAAP財務指標をGAAPと完全に調整して提供することができません。これはカプリ・ホールディングス・リミテッド買収の時期や買収額、資金調達、パーチェス法による会計処理、統合関連費用、会社の諸費用など指標に影響を与える特定の重要項目がまだ発生しておらず、現時点で合理的に見積もることができないためです。従って、タペストリー・インクの非GAAP財務指標のガイダンスのGAAP指標との調整は非論理的な手続きなく提示し得ません。

カンファレンスコールについて

タペストリー・インクは、本日 2023 年 11 月 9 日午前 8 時 00 分(米国東部標準時)に、今回発表の業績についてのカンファレンスコールを実施します。ご関心のある方は、インターネットにてライブのウェブキャスト www.tapestry.com/investors にアクセスされるか、カンファレンスコール(1-866-847-4217 または 1-203-518-9845 にダイヤルし、カンファレンス ID 4101321 を入力してください)へお申し込みください。電話による再放送(1-800-283-4641 または 1-402-220-0851 にダイヤル)は同日の米国東部標準時、正午より 5 営業日の間お聞きいただけます。ウェブキャストの再放送はタペストリー・インクのウェブサイト上で 5 営業日の間アクセスすることができます。業績説明資料も www.tapestry.com/investors でご覧いただけます。

今後の予定について

タペストリー・インクの 2024 年度第 2 四半期の業績発表は、2024 年 2 月 8 日(木)の予定です。

今後お知らせを受信されたい方は www.tapestry.com/investors (“Subscribe to E-Mail Alerts”)にご登録をお願いします。

タペストリー・インクについて

タペストリー・インクは、コーチ、ケイト・スペード ニューヨーク、スチュアート・ワイツマンのそれぞれが持つ魅力を集結させたグローバルなマルチブランド企業です。各ブランドが唯一無二の個性をもつ存在でありながら、独自性のある商品と、チャネルや国・地域を超えたブランドならではの顧客エクスペリエンスによって定義される革新性と本物志向のコミットメントを共有しています。タペストリー・インクは総合力を発揮して、お客様に感動を与え、コミュニティに力を与え、ファッション業界をより持続可能なものにするとともに、公平で、インクルージョンとダイバーシティに富んだ企業へと進化していきます。個々の象徴的ブランドがひとつになることで、無限の可能性を追求できるのです。タペストリー・インクの詳細については <http://www.tapestry.com> (英語のみ)をご覧ください。タペストリー・インクに関する重要なニュースと情報については、Investor Relations のセクション www.tapestry.com/investors をご覧ください。さらに、投資家の皆様はタペストリー・インクのニュースリリース及び証券取引委員会への報告を引き続きご確認ください。

タペストリー・インクは投資家の皆様への主要な情報の配信網としてこれらを活用しており、一部には重要情報や未公開情報が含まれている場合があります。タペストリー・インクの普通株式はニューヨーク証券取引所でティッカーシンボル **TPR** で取引されています。

当プレスリリースには将来の見通しが含まれていますが、実際の結果は事業に及ぼす様々なリスクや不確定な事由により現在の見通しと異なる可能性があります。タペストリー・インクは、法律で求められる場合を除き、いかなる理由でも当資料に含まれる将来の見通しに関する記述内容を修正または更新する義務を一切負いません。

###

財務諸表 1: 連結損益計算書

タバストリー・インク

連結損益計算書

2023年9月30日及び2022年10月1日終了の四半期

(単位: 百万ドル、ただし1株当たり純利益を除く)

(未監査)

下記期日に終了の四半期

	2023年9月30日		2022年10月1日	
売上高	\$	1,513.2	\$	1,506.5
売上原価		415.5		451.9
売上総利益		1,097.7		1,054.6
販売管理費		844.5		800.3
営業利益(損失)		253.2		254.3
支払利息		13.3		7.4
その他の支出(収入)		1.4		10.7
税引前利益(損失)		238.5		236.2
法人税等(便益)		43.5		40.9
純利益(損失)	\$	195.0	\$	195.3
1株当たり純利益(損失)				
基本	\$	0.85	\$	0.81
希薄化後	\$	0.84	\$	0.79
1株当たり純利益(損失)の算出で使用した株式数				
基本		228.3		241.5
希薄化後		232.5		246.8

財務諸表 2: 売上高内訳

タバストリー・インク

売上高内訳

2023年9月30日及び2022年10月1日終了の四半期

(単位: 百万ドル)

(未監査)

	下記期日に終了の四半期		増減率 (2023年度対比)	恒常通貨ベースの 増減率(2023年度対比)
	2023年9月30日	2022年10月1日		
コーチ	\$ 1,157.4	\$ 1,119.3	3%	5%
ケイト・スピード	303.2	321.9	(6)%	(5)%
スチュアート・ワイツマン	52.6	65.3	(19)%	(18)%
タバストリー合計	\$ 1,513.2	\$ 1,506.5	—%	2%

財務諸表 3: セグメント別売上総利益

タペストリー・インク
セグメント別売上総利益
2023年9月30日及び2022年10月1日終了の四半期
(単位: 百万ドル)
(未監査)

下記期日に終了の四半期

	2023年9月30日		2022年10月1日	
コーチ	\$	867.6	\$	808.9
ケイト・スペード		198.9		207.8
スチュアート・ワイツマン		31.2		37.9
売上総利益	\$	1,097.7	\$	1,054.6

財務諸表 4 及び 5: 連結(要約)セグメントデータ及び比較可能性に影響を与える項目

タペストリー・インク
連結セグメントデータ及び
GAAPから非GAAPへの調整
(単位: 百万ドル、ただし1株当たり純利益を除く)
(未監査)

2023年9月30日終了の四半期
比較可能性に影響を与える項目

	GAAPベース (報告書)		非GAAPベース (特殊要因除外後)			
		買収費用				
コーチ	\$	371.3	\$	—	\$	371.3
ケイト・スペード		26.6		—		26.6
スチュアート・ワイツマン		(8.6)		—		(8.6)
会社		(136.1)		(19.6)		(116.5)
営業利益(損失)	\$	253.2	\$	(19.6)	\$	272.8
純利益(損失)	\$	195.0	\$	(21.3)	\$	216.3
1株当たり純利益(損失)	\$	0.84	\$	(0.09)	\$	0.93

セグメントデータ補足

2023年9月30日終了の四半期
比較可能性に影響を与える項目

	GAAPベース (報告書)		非GAAPベース (特殊要因除外後)			
		買収費用				
コーチ	\$	496.3	\$	—	\$	496.3
ケイト・スペード		172.3		—		172.3
スチュアート・ワイツマン		39.8		—		39.8
会社		136.1		19.6		116.5
販売管理費	\$	844.5	\$	19.6	\$	824.9

タバストリー・インク
連結セグメントデータ
(単位:百万ドル、ただし1株当たり純利益を除く)
(未監査)

	2022年10月1日終了の四半期	
	GAAPベース(報告書)⁽¹⁾	
コーチ	\$	339.2
ケイト・スピード		23.2
スチュアート・ワイツマン		(5.1)
会社		(103.0)
営業利益(損失)	\$	254.3
純利益(損失)	\$	195.3
1株当たり純利益(損失)	\$	0.79

	2022年10月1日終了の四半期	
	GAAPベース(報告書)⁽¹⁾	
コーチ	\$	469.7
ケイト・スピード		184.6
スチュアート・ワイツマン		43.0
会社		103.0
販売管理費	\$	800.3

⁽¹⁾ 2022年10月1日終了の四半期には比較可能性に影響を与える項目はありませんでした。

経営陣は非 GAAP 及び恒常通貨の指標を使って事業を行い、該当期間に関する営業成績の定期報告の間に事業を評価し、会社のリソース及び業績に関する意思決定を行います。タバストリー・インクは、これらの期間比較ができない項目を除く非 GAAP 指標を提示することは、投資家及びその他の人々が会社の継続的な営業成績や財務結果を経営陣の業績評価と一致する方法で評価し、それらの結果を会社の過去の業績と比較して理解する上で役立つものと確信しています。さらにタバストリー・インクはこれら指標を恒常通貨ベースで表示することは、前年比の為替レートの変動がこれら業績指標に与える重大な影響について投資家及びアナリストの理解を助け、これらの影響を除外した場合の業績及び業績見込みを評価する枠組みを提供するものと確信しています。

タバストリー・インクは米国会計基準(GAAP)に従って情報を報告しています。経営陣が、非 GAAP 財務指標を、GAAP に基づいて作成された財務情報から切り離して単独で評価したり、その代用とすることは無く、投資家にそれを推奨するものでもありません。また、タバストリー・インクが用いた非 GAAP 指標はタバストリー・インク特有のものである場合があり、他社が用いる非 GAAP 指標とは異なる場合があります。

タバストリー・インクはグローバルに事業展開しており、財務業績は GAAP に基づいて米ドル建てで報告しています。タバストリー・インク及び各セグメントの純売上上の増減率は、外貨建て売上上の米ドル換算による為替変動の影響を算入・除外し、前四半期及び前年同期と比較して表示しています。タバストリー・インクは、前期の月平均の換算レートを使用して当期の純売上を現地通貨に換算することで恒常通貨ベースでの純売上を算出しています。

上記の連結(要約)セグメントデータ及び GAAP から非 GAAP への調整に記載されているセグメントの営業利益及びセグメントデータ補足の販売管理費は、報告書記載の販管費率及び営業利益率と同様に非 GAAP の指標とみなされます。これらの指標は、2023年9月30日終了の四半期の買収費用について含む場合と含まない場合の両方で表示されています。また、セグメントの営業利益(損失)、1株当たり純利益(損失)は、2023年9月30日終了の四半期の買収費用について含むものと含まないものの両方で表示されています。

2022年10月1日終了の四半期には比較可能性に影響を与える項目はありませんでした。

タバストリー・インクは、非 GAAP の指標であるフリーキャッシュフローも提示しています。フリーキャッシュフローは連結(要約)キャッシュフロー計算書の「営業活動から生じた(に使用した)現金」から「固定資産の取得」を差し引いたものです。タバストリー・インクは、フリーキャッシュフローが資本支出後の営業支出及び投資に利用可能な現金を示す重要な流動性の指標だと考えています。またフリーキャッシュフローは当社のキャッシュの創出力や支払能力を評価するために投資家にも有用であると考えています。タバストリー・インクの事業上の資金需要や債務が充足されれば、キャッシュは強固な財務基盤の維持、将来的な成長に向けた投資、株主への資本還元可以使用です。調整後 EBITDA は、支払利息、法人税等、減価償却費、クラウド化に関連する償却費、株式報酬、買収及び統合費用を含む比較可能性に影響を与える項目を除いた純利益として計算されています。

財務諸表 6: 連結(要約)貸借対照表

タバストリー・インク
 連結(要約)貸借対照表
 2023年9月30日、2023年7月1日現在
 (単位:百万ドル)

	(未監査)		(監査済)	
	2023年9月30日		2023年7月1日	
資産				
現金及び現金等価物、並びに短期投資	\$	638.8	\$	741.5
売掛金		264.8		211.5
棚卸資産		942.5		919.5
その他流動資産		562.9		491.0
流動資産合計		2,409.0		2,363.5
有形固定資産(減価償却後)		539.6		564.5
オペレーティングリース使用权資産		1,352.1		1,378.7
その他固定資産		2,841.8		2,810.1
資産合計	\$	7,142.5	\$	7,116.8
負債及び資本				
買掛金	\$	386.5	\$	416.9
未払債務		487.1		547.1
短期オペレーティングリース負債		295.6		297.5
1年内返済予定長期借入金		25.0		25.0
流動負債合計		1,194.2		1,286.5
長期借入金		1,629.9		1,635.8
長期オペレーティングリース負債		1,296.7		1,333.7
その他負債		606.0		583.0
株主資本		2,415.7		2,277.8
負債及び資本合計	\$	7,142.5	\$	7,116.8

財務諸表 7: 連結(要約)キャッシュフロー計算書

タバストリー・インク
 連結(要約)キャッシュフロー計算書
 2023年9月30日及び2022年10月1日現在
 (単位:百万ドル)

	(未監査)	
	2023年9月30日	2022年10月1日
営業活動によるキャッシュフロー		
当期純利益(損失)	\$ 195.0	\$ 195.3
当期純利益から営業活動によるキャッシュフローへの調整		
減価償却費	44.3	43.8
その他の非現金項目	49.7	(10.0)
営業資産及び負債の変動額	(213.7)	(399.5)
営業活動から生じた(に使用した)現金	75.3	(170.4)
投資活動によるキャッシュフロー		
固定資産の取得	(20.9)	(27.3)
有価証券の取得	(1.9)	(4.0)
その他	—	178.1
投資活動から生じた(に使用した)現金	(22.8)	146.8
財務活動によるキャッシュフロー		
配当金の支払	(80.2)	(72.7)
自己株式の取得	—	(94.9)
その他	(69.2)	(58.6)
財務活動から生じた(に使用した)現金	(149.4)	(226.2)
為替相場変動の現金及び現金等価物に対する影響	(7.1)	(13.5)
現金及び現金等価物の純増(純減)	(104.0)	(263.3)
現金及び現金等価物の期首残高	\$ 726.1	\$ 789.8
現金及び現金等価物の期末残高	\$ 622.1	\$ 526.5

財務諸表 8: ブランド毎の店舗数

タペストリー・インク

店舗数

2023年7月1日及び2023年9月30日現在

(未監査)

直営店舗数:	2023年 7月1日現在	出店数	(閉店数)	2023年 9月30日現在
コーチ				
北米	330	—	—	330
海外	609	3	(8)	604
ケイト・スペード				
北米	205	—	(1)	204
海外	192	2	(2)	192
スチュアート・ワイツマン				
北米	36	—	—	36
海外	57	5	(1)	61

###